

VOL.20

第一次世界大戦について調べよう！

2014.2 作成

○第一次世界大戦とは…？

一九一四年から一九一八年まで、ドイツ・オーストリア・トルコ・ブルガリアの同盟側がイギリス・フランス・ロシア・アメリカ・日本などの連合国と戦った大きな戦争。

(三省堂『新明解国語辞典 第五版』[1997]より)

○概要を調べる

・Y200 or 03/R 『総合百科事典ポプラディア6』ポプラ社 [2002]

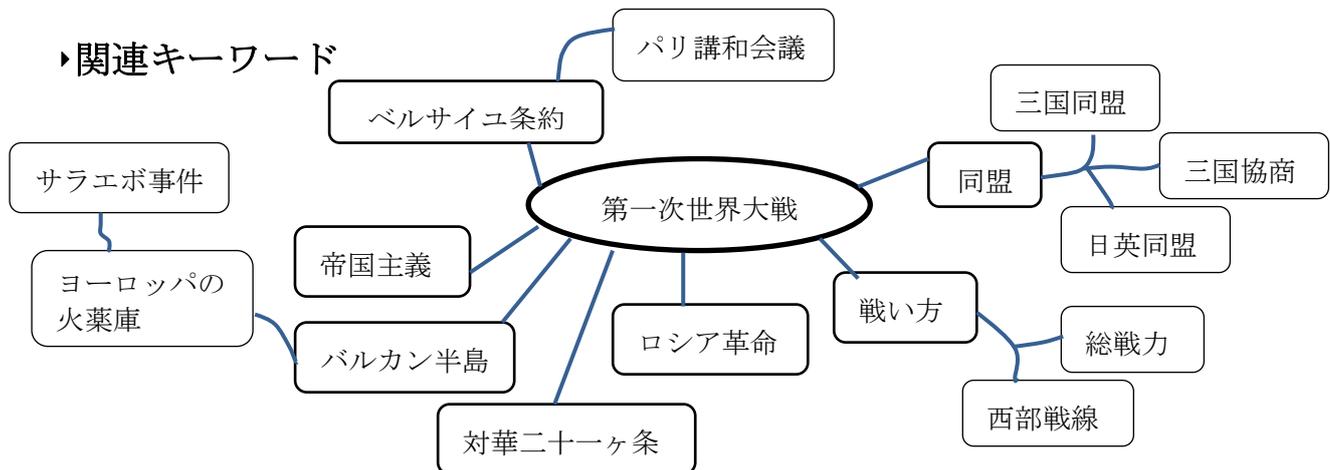
→205 頁に第一次世界大戦の項あり(特集ページ)。概要が簡潔にまとめられている。4巻 236 頁の「サラエボ事件」の項にも記述がある。

・Y200 or R031 『日本大百科全書14』小学館 [1986]

→308-322 頁に第一次世界大戦の項あり。戦争の背景・特徴や年表などが書かれており内容はやや硬めだが、丁寧に説明がされている。写真や地図も多くわかりやすい。

○詳しく調べる

▶関連キーワード



▶日本十進分類法 (一般書) で探す

【 209 世界史 】【 209. 7 世界史(20世紀) 】【 209. 71 第一次世界大戦 】

▶児童・YAコーナーで探す

【 20 世界の歴史 】【 Y220 歴史地理 】

▶例えこんな資料 * 網掛けは児童コーナーの資料

- 20 『世界と日本の歴史 9 現代 1 戦争と平和』 笠原十九司／大月書店 [1988]
→57 頁から第一次世界大戦について述べている。視点が、日本と第一次世界大戦の関わりというところに重きを置いているので、世界史の本というよりは日本史の本に近い。特にアジアの戦場については他の本より詳しい記述になっているところもある。
- 20 『知のビジュアル百科 16 写真が語る第一次世界大戦』
サイモン・アダムズ 猪口邦子／あすなろ書房 [2005]
→後述の『第一次世界大戦 1914-1919』同様、写真資料を中心に戦争当時の様子を紹介しているものだが、こちらのほうが現在の資料館(ヨーロッパにあるもの)の様子や遺物などのカラー写真が多い。説明も多いので、『第一次世界大戦 1914-1919』が難しいという人はこちらだけでも十分な資料になる。
- Y220 『これならわかる世界の歴史 Q&A 2』 鈴木亮・中山義昭／大月書店 [2000]
→105 頁から 121 頁までが第一次世界大戦～ヴェルサイユ条約までの項目。Q&A 方式で、第一次世界大戦の開戦までの流れや、新しい兵器が用いられたことなどが書かれている。ヨーロッパ各国の植民地からも徴兵されたことのような、他の本には余りかかれていない情報も載っている。
- Y220 『面白いほどよくわかる世界の戦争史』 世界情勢を読む会／日本文芸社 [2001]
→年代順に世界史の出来事を解説している本。ひとつの出来事が見開きで書かれているので、情報が集約されている。図解の下にあるコラムや、欄外のそのころの日本の動きを紹介する欄などを読むのも面白い。
- Y220 『第一次世界大戦 1914-1919』 毎日新聞社 [1999]
→近代戦争の特徴である写真を多く使った資料。説明文には中高生には難しい漢字もあるが、とにかく写真の量の豊富さは他の本と比べられない。

○図書以外の資料

◎映像資料

- 403026651 『〈アポロン・ビデオライブラリー〉世界史大系 9 帝国主義と第一次世界大戦』
／アポロン
→ビデオ資料。10 巻セットで世界史の主だった出来事を紹介しているビデオ。9 巻には、第一次世界大戦の開戦前から終戦までを紹介している。
- 403001845 『映像でつづる 20 世紀世界の記録 2～5 第一次世界大戦への道 1905～1913』
／日本ビクター [1991]
→ビデオ資料。30 巻セットで 20 世紀の歴史を紹介している。2～5 巻にかけて、第一次世界大戦の開戦前から終戦後の世界の様子(主にヨーロッパ)を紹介している。

○プラス・ワン!

- L1 『西部戦線異状なし』 エーリヒ・マリア・レマルク／新潮社 [1987]
- 404004228 『西部戦線異状なし』(1930) /パイオニア [1982]
→レマルクの代表作であり、映画にもなった戦争文学。第一次世界大戦に実際に従軍した著者の体験から紡がれた本書は、前線の兵士の生活の悲惨さ、凄惨さを伝えている。中央図書館の LD 資料で映画を見ることもできる。